令和8年度　年度始め部課長への訓示

令和8年度のスタートにあたり、皆さんに訓示をしたいと思います。

今回の人事異動では、部課長の皆さんを大きく動かすことはしませんでした。ほとんどの方が継続ですから、今年度、自分は何をすべきか？ということは分かっていると思います。前年度に積み残した課題だったり、今年度の新規事業だったり、しっかりと目標を立てて、着実に成果へと繋げていただくことを期待しています。

今日は、個別の政策については触れませんが、業務を推進していくうえで、必要な相談・協議は適時適切に行ってください。案件によっては、庁内連携はもとより、庁外との調整も重要となりますので、部課長の皆さんには、スケジュール感を持って、しっかりとマネジメントできるよう心掛けてください。

さて、昨年度は、分野別計画の改定がいくつかありました。計画策定にあたっては、アンケートを取ったり、委員会でご意見を頂いたりと、出来るだけ村民の意見を反映させようと取り組んできたことと思います。しかしながら、計画は出来てからのアプローチが大変大事であると思っています。行政は、計画づくりが目的になっていると揶揄されることもありますが、計画の実効性を高めるためには、計画内容の周知とともに、如何に村民の方々に参画してもらえるかが重要になってまいります。これまでのアプローチで成果が出ていなければ、新たな手法を考えなければならないはずです。是非、村民の皆さんの関心を高められるようチャレンジしていただきたい。トライ＆エラーでいいですから！

年度当初にあたり、皆さんに、2点申し上げておきます。

1点目は、職員の心身の健康保持を意識したマネジメントをお願いします。

役場の仕事は、常に、公平公正で正確さが求められています。また、許認可関連では、村民の要求も厳しさがあり、職員の中には、プレッシャーを感じている人も多いと思います。さらに、職場の人間関係等も加わり、メンタル面で不調をきたす職員も増えてきております。自分からSOSを発信することが出来ない場合もあろうかと思いますので、日頃のコミュニケーションを大事にしてください。

2点目は、適正な事務処理を担保するための工夫をお願いします。

昨年度も、事務処理のミスが散見されました。ミスが起こるたびに、原因究明と再発防止策が講じられますが、果たして実効性は上がっているのでしょうか？最終的には、一人ひとりの意識の問題とはなりますが、組織で仕事をしているわけですから、管理職としての皆さんの力量が問われます。よろしくお願いします。

結びに、今年度の皆さんの活躍を大いに期待し、訓示といたします。